

ペアシティ三原東館跡地を三原市が購入しました

これまでの経緯

ペアシティ三原東館跡地を活用した民間企業による開発計画(商業施設とマンション)が昨年2月に、中断されました。

その後、市として当企業に対し、計画の推進に向けた要請を繰り返し行なってきましたが、今年2月に改めて計画の実現は困難との見通しが示されました。

このため、三原駅前の玄関口にふさわしい開発事業を民間から公募する前提で、市議会の議決を得て当跡地を市が取得しました。

今後の取り組み

市は、当跡地の有効活用を図るため、市議会や市民の皆さんの意見を伺いながら「ペアシティ三原東館跡地活用に関する基本方針」を策定します。

基本方針のもとで、開発事業者からの提案(プロポーザル)を受け、実現性や中心市街地活性化などの観点から、総合的に判断し、事業者を決定する予定です。

厳しい経済情勢の中、開発事業者から積極的な提案が受けられないことも想定されますが、一日も早く、市中心部である三原駅前の活性化が図られるよう取り組みます。

跡地の暫定活用

プロポーザルが円滑に進み、開発事業者が決定された場合においても、工事が着手されるまでには、最短でも2年近い期間が必要になります。

このため、現在、解体工事後のままになっている当跡地を周辺道路の高さまで埋め戻して、市民の皆さんに利用していただく予定です。

なお、具体的な整備内容などについては、今後、検討していきます。

これからの跡地開発の動きや、跡地暫定活用についての情報は、広報みはらや市ホームページでお知らせしていきます。今後の市の取り組みに協力をお願いします。

ペアシティ三原東館をめぐる経過

昭和56年	3月	ペアシティ三原オープン
平成17年	9月	天満屋が三原店を閉店することを発表
	10月	民間企業が天満屋所有床を取得したことを発表
平成18年	3月	天満屋三原店が閉店
平成19年	2月	民間企業が商業施設とマンションの開発計画を発表
	6月	ペアシティ三原東館解体工事着手
平成20年	2月	ペアシティ三原東館解体工事完了(その後開発はストップ)
平成21年	2月	地元経済団体を中心とした団体から、市へ跡地購入の要望書が提出される
	6月	市がペアシティ三原東館跡地を購入

市民の皆さんのご意見を募集します

あなたが望む東館跡地の将来像について、提案してください

提案内容は今後の活用のあり方を検討する際の参考にします。

駅前活性化検討会議の委員を募集します

ペアシティ三原東館跡地について、民間活力による開発を募集するにあたり基本方針を策定します。この基本方針を検討する委員を募集します。

任 期 半年程度

募集人員 若干名

応募資格 市内に住む20歳以上の人

申し込み・問い合わせ ①②ともに17日(月)(当日必着)までに郵送、ファクス、Eメールで政策企画課(☎0848⑦6011☎0848⑦6199✉seisakukikaku@city.mihara.hiroshima.jp)へ

※②については応募用紙(政策企画課、各支所地域振興課に用意。政策企画課ホームページからダウンロードも可能)に必要事項と駅前活性化についての意見(400字程度)を記入し、提出してください。